

2022年度 第3回理事会議事録

日 時 2022年9月21日 19:00～

場 所 WEBミーティング

出席者

林(会長/大島HP),加藤木(副会長/前橋保健所),鎌塚(副会長/上毛HP),中嶋(代議員/県立精神医療センター),横澤(顧問/くわのみらい),福永(ケ・クリニック),佐藤(田中HP),片山(アルファイア),小林(あぜりあ),永尾(赤城高原HP),番場(あけぼの),富澤(西毛HP),鈴木(群馬HP),茂呂(サビエルHP),中嶋(高崎社協),天笠(監事/三枚橋HP),池田(高健大),狩野(事務局長/田中HP),原島,藤井(事務局/田中HP)

〈林会長挨拶〉

理事の皆様お疲れ様です。全国大会では大変お疲れさまでした。ありがとうございました。大盛況のうちになんとか終わることができました。総括に関してはこの後、横澤運営委員長からしていただこうと思います。県士会が発足してこれまでの積み重ねの成果がこの全国大会成功というところに繋がったと思います。この成果を活かして今後も会の活動を地道に行い、次世代に繋げていきたいと考えています。

トピックスとしては、みなさん国連総括所見を報道等で確認しているかと思いますが、8月に国連本部で障害者権利条約に基づいて日本に対して初めて審査が行われました。9月9日に改善勧告という形で扱われ、特別支援教育の中止や、精神科病院の強制入院の廃止、入所施設から地域社会への生活に移行できるよう予算配分の変更など報道され、かなり多くの項目で勧告されました。懸念事項93項目、勧告が92項目もあるという状況（留意1項目、奨励1項目）。障害者関連でいうと、警察官の職務執行法の中に精神錯乱という屈辱的な用語を訂正する必要が指摘されていたり、障害に基づく侮辱的な文言の廃止が勧告されています。併せて障害のある人への否定的な固定観念、偏見、有害な慣行を排除する、国家戦略の再建といったことが勧告されました。この勧告事項には日本の障害者政策を変える必要があると示されていると考えることができます。あとは障害年金の額の見直し、これも勧告事項。障害のある人が地域で自立して生活するための支援体制の強化は要請。障害者総合支援法の適用のサービス外になっている通勤、通学等、項目がないがこういった制限撤廃も勧告されています。これなどは何年前に県士会でもソーシャルアクションとして挙げた方が良いのでは、といった話をしたこともある事項です。ほか、津久井やまゆり園の事件の再検証も勧告、災害時の合理的配慮の法改正、仮設住宅等その他の支援を障害のある人にも使用しやすいような街づくり、障害女性の複合差別、一般女性政策に障害の視点も盛り込むようにといった勧告がなされていました。きょうされんのHPが一番まとまっているようです。日本協会HPのトピックにも挙がっていたかと思いますので確認しておいてください。

1. 2022年度第2回理事会の振り返り

略

2. 日本精神保健福祉士協会関連

【関東甲信越ブロック会議】(中嶋代議員・林会長)

- ・9月25日(日)オンラインにて開催予定。国賠に関しては個々の立場もあり支部としての意見を出せない。また個人的な見解を表立って話すことは難しいと考える。裁判を支援するというよりも、裁判の当事者の生活を支援するのは変わらないため、それらをブロック会議で伝えたい。
- ・ブロック会議担当理事より、各都道府県支部から協議事項を上げてほしいと連絡があった。こちらで考えているのは、国連勧告に基づいた会の考え方、入国管理局の人権侵害について。またブロックごとに協議事項を上げるのも良いが日本協会から明確に協議事項・検討事項を上げないとみなさんからの意見集約ができず代議員の役割が難しいと思われることなど。ほか、コロナ禍における各支部の入会促進の取組状況や、日本協会の入会促進の取組、次世代の育成についての各支部の取り組みなどを群馬県からの議題として出したいと考えている。そのほかに協議事項等があればchatworkに上げてほしい。

【全国大会総括】（横澤全国大会運営委員長）

- ・9月2日、3日に全国大会・学術集会在開催された。2018年頃から具体的に動き始めて約4年、みなさんがそれぞれの役割をしっかりと果たしていただき、みんなで盛り上げ、作り上げられた。本部事務局より参加人数について会場440名、うち当日参加19名、WEB参加383名、計823名という参加人数だった。
- ・運営委員会としては当初1,000名を見込んでいたが、コロナの感染状況がピークになりつつある段階でこれだけの人数が集まることができたのは、私たちにとっては誇りに思っよい数字だと思う。
- ・現在は各部会、WGのみなさんに振り返りを依頼している。10月後半に運営委員会を開催し総括をする予定。11月に日本協会本部事務局との最後の企画委員会を予定している。

3. 事務局報告

〈入退会者〉

- 入会者7名（うち1名は入金のみで入会届未提出）
- 退会者6名（うち1名は昨年度未納のため事務局にて対応する）

〈令和4年度群馬県社会福祉協議会会長表彰・感謝候補者/保健事業等功労者知事表彰被表彰候補者推薦〉

前回理事会では3役で検討し候補者をあげることとしていた。こちらはくわのみハウスの横澤さんを推薦、併せて保健事業等功労者知事表彰被表彰候補者の推薦については、県立精神医療センターの米山さんを推薦した。いずれも期日までに届け出をしたが、まだ結果が届いていない。
◎今後も積極的にこれまで活動されてきた方を表彰していきたい。

〈IFSWヨーロッパによるウクライナ難民支援活動等への義援金〉

- ・義援金を贈ることは決まっていたが金額が詰められていなかった。
→団体として義援金を出している支部はあまりない様子。金額に関しては1万程度で十分とのこと。
→これまで被災地等への義援金は1万円だったが、海外ということで2万円でも良いのでは。
→ここで新たな慣例を作ってしまう、今後がきつくなるのも困る。
- ◎これまでも寄付は1万円としていたので1万円とする。締切9月25日。

〈今年度事業費の取り扱い〉

- ・事業費は現金で用意している。事務局が関わっている事業については管理等させてもらうことができるが、受渡しができていない事業もある。どのようにお渡ししたらよいか。直接事務局に連絡をいただければ、届けても取りに来ていただいても構わないが、事業によって異なる。
→各担当より直接事務局と対応を確認する。

〈多職種連携推進連携協議会広報誌寄稿依頼〉

- ・執筆依頼については林会長が対応。

〈会費未納者〉

- ・90名程度の未納者がいる。また地区ごとに分けて報告する。各地区理事の方には声掛けをよろしくお願いしたい。

4. 2022年度県士会事業

【第2回定例会】（中部地区）

- ・7月8日(金)Gメッセ群馬201中会議室にて開催。40名程度の参加があった。プレ全国大会・学術集会和位置付けて行った。全国大会を開催するにあたって、会場の雰囲気等がわかった方が良いと思い、学会のプレ企画担当者にも協力いただいた。
- ・全国大会運営委員会のみなさんにもお集まりいただき、当日の雰囲気を感じてもらうことができたかと

思う。それまでは運営委員も顔を合わせる機会がない状況だったため、久々に定例会を集合して開くことができて良かった。ハイブリッドだったので、オンラインからも参加された方もいた。

- ・たまたま7月8日で七転び八起きだった。第57回と第21回を足しても78という数字になった。

【第3回定例会】（西部地区）

- ・「性暴力被害者支援について」をテーマに、群馬県性暴力被害サポートセンターの方に講師をお願いしている。10月14日(金)14時からオンラインで開催。質疑応答含め90分で予定。

5. 各事業報告

【教育研修委員会】

- ・7月8日定例会のプレ全国大会の企画に中部地区と共催し、第1回の研修とした。9月28日(水)に今年度2回目の委員会会議を行い、今年度第2回、第3回の研修会の内容、運営について検討する予定。

【基幹研修Ⅰ】

- ・基幹研修1は2023年2月18日(土)に開催予定
- ・第1回目の会議を10月21日(金)に開催予定。参集かオンラインかは調整する。

【司法ソーシャルワーク委員会】

- ・1月または2月に保護観察所で性犯罪者へのプログラムがあるとのことで、更生保護や緊急更生保護など、保護観察所内のことについて研修を行う予定。
- ・全国大会のプレ企画で「ぐんま・つなごうネット」を紹介、他県からも好評をいただいた。分科会では「つなごうネット」の活動についてのアンケート結果を報告した。

【災害対策委員会】

- ・9月26日に2回目の委員会を開催予定。各活動の詳細については26日に報告を受ける予定。
- ・DWAT関連の検討会、平時の活動委員会には長坂委員長が、養成研修、総合防災訓練(明和町)小淵さん参加、防災総合訓練(安中市)長坂さん参加。
- ・全国災害対策委員会のMLで情報共有するが、群馬県の災害対策委員会の委員がMLに登録して情報共有している。
- ・3団体(医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉士会、精神保健福祉士会)の災害対策委員会の情報交換会を日程調整中。11月中に開催予定。

【倫理準備委員会】

- ・来年に向け改めてまとめていきたい。年内に1回会議を開催予定。

【政策提言委員会】

- ・まだ事務局には公明党からのご案内は来ていない。群精社協に案内が来ているのは自民党で10月までに出すことになっている。群精社協とも協働できると良いかな、とも思う。

【広報委員会】

- ・9月15日に会議を開催。広報誌は通常通り、全国大会の様子を報告する予定。SNSも運用中。Twitterは全国大会に併せてアカウントを取ったが、このまま県士会のアカウントとして運用していくこととした。ホームページ、Facebookも随時更新をかけていく予定。
- ・Zoomサロンも日程調整中。次回全国大会開催地の愛媛県にも声をかけて群馬で盛り上げて行けると良いと考えている。
- ・情報を事務局に一括して集めホームページにアップしている。チラシ等ができれば事務局にお願いしたい。

- 各委員会の活動が見えるように、委員会活動の案内のようなものもホームページでできないか、と考えている。担当理事、委員長の連絡先をホームページに載せたいと考えている。個人番号を載せることはないが、所属先、所属部署、連絡先を各委員会から1名～2名程度教えていただきたい。新しい会員や若い会員にも興味を持ってもらえるように、強制ではなく掲載したいところは事務局まで教えてほしい。

【SWD委員会】

- 来年度は幹事団体となる。助成金申請等対応する。

6、ソーシャルバスケット関連

- 8月7日、ソーシャルバスケットキャラバン群馬ラウンドが開催され今年は15名程度が参加された。5年前から群馬でも開催されている。当事者も支援者も一緒に参加している。今年はなかったが毎年プロも参加される。理事が福島県の精神保健福祉士会の方。福島県から5名ほど一緒に来県されたりしている。今後も開催されたら、みなさんにも参加していただきたい。

7. その他の報告・検討事項

- 現在、情報共有ツールとしてchatworkを利用しているが、フリープランに制限がかかるようになってしまった。今後、こういったツールが良いかなど、情報があったら教えてほしい。また、新しいツールを使用するようになった場合には協力をお願いしたい。

〈文責：原島〉